

関西医療大学 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科を卒業する学生に求めるコンピテンシー

はり灸・スポーツトレーナー学科のディプロマ・ポリシー 〔卒業認定・学位授与に関する方針〕

総合教育科目24単位、専門教育科目104単位、合計128単位を修得し、以下に示した資質・能力を身につけていること。

1. 多様な職種との連携を、円滑に行えるコミュニケーション能力
2. 鍼灸専門職としてのアイデンティティをもって、未病から難病まで幅広く対応できる能力
3. 東洋医学の知識・技術をもつプロフェッショナルとして、広く疾病・傷害からスポーツ医療に至る問題を解決できる実践力

はり灸・スポーツトレーナー学科が学生に求めるコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	様々な状況に応じて相手を思いやり、対話できる
④ 専門知識	現代医学、鍼灸学に関する体系化された高い知識を駆使できる
⑤ 専門技術	鍼灸師として安全かつ高度な技術を身につけ、臨床で実践できる
⑥ 鑑別力	鍼灸師として治療の適否を鑑別できる
⑦ 実践力・対応力	鍼灸師、スポーツトレーナーとして、対象者のニーズにあわせて対応できる
⑧ 問題解決能力	鍼灸師、スポーツトレーナーとして、医療・スポーツ現場での問題点を適切に解決できる

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に編成したカリキュラムのもとで教育を行っている。

また、各学科では「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程において身につけることを期待する8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めている。学生は、1つ1つの授業科目を学年ごとに履修しながら、この8つのコンピテンシーの修得を積み重ねることで、卒業時には本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけ、「社会に役立つ」医療人として活躍することを目指す。

はり灸・スポーツトレーナー学科のカリキュラム・科目履修で身につけるコンピテンシー

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	①② 東洋医療の基礎・導入教育	①② 生命のしくみ	①② 社会学	①② 情報科学	③④ 医療英語			
	①④ 科学の基礎	①② 物質と自然のしくみ	①② 教育学	①② 社会福祉論				
	①④ 統計学の基礎	①② 生命の化学	①③ 英語表現法Ⅲ	①③ 英語表現法Ⅳ				
	①④ 心理学	①② 生命倫理	①③ 中国語Ⅰ	①③ 中国語Ⅱ				
	①③ 生涯スポーツⅠ	①② 日本国憲法（法の基礎知識）						
	①③ スポーツと健康	①③ 生涯スポーツⅡ						
	①③ 英語表現法Ⅰ	①④ 東洋思想						
	①③ コミュニケーション学	①③ 英語表現法Ⅱ						
	①③ 国語表現法							
	専門教育科目	④⑥ 人体の構造Ⅰ	④⑥ 人体の構造Ⅱ	④⑥ 病因・病態学Ⅰ	④⑥ 病因・病態学Ⅱ	⑤⑥ 臨床医学Ⅲ（内科系1）	④⑧ 医事法規	⑤⑦ 伝統鍼灸Ⅱ（経絡治療）
④⑤ 人体の構造実習Ⅰ		④⑤ 人体の構造実習Ⅱ	④⑥ 臨床医学Ⅰ（医学総論）	④⑥ 臨床医学Ⅱ（外科系）	⑤⑥ 臨床医学Ⅳ（内科系2）	⑤⑦ 鍼灸特殊治療法	④⑥ 現代鍼灸学	⑤⑦ レディース鍼灸
④⑥ 人体の機能Ⅰ		④⑥ 人体の機能Ⅱ	④⑥ 食品栄養学	④⑥ リハビリテーション概論	⑤⑥ リハビリテーション各論	⑤⑦ 伝統鍼灸Ⅰ（澤田流）	④⑦ トリガーポイント鍼療法Ⅰ	⑤⑦ 鍼灸美容
④⑥ 東洋医学総論Ⅰ		④⑥ 東洋医学総論Ⅱ	④⑥ 臨床心理学	④⑥ 加齢医学	⑤⑦ 予防とコンディショニングⅡ	⑤⑦ トリガーポイント概論	⑤⑦ スポーツ鍼灸治療Ⅱ	⑤⑦ トリガーポイント鍼療法Ⅱ
④⑥ 経穴Ⅰ（経絡の流注）		④⑥ 経穴Ⅱ（要穴1）	④⑥ スポーツ心理学	④⑥ 予防とコンディショニングⅠ	④⑥ スポーツ医学Ⅱ	⑤⑦ 経穴・臓象学	④⑦ 臓腑経脈治療Ⅰ	⑤⑦ 臓腑経脈治療Ⅱ
④⑥ アスリートトレーナー概論Ⅰ		④⑥ アスリートトレーナー概論Ⅱ	④⑤ 経穴Ⅲ（要穴2）	④⑥ スポーツ医学Ⅰ	④⑥ スポーツ医学Ⅲ	⑤⑦ スポーツ鍼灸治療Ⅰ	④⑦ 臓腑経脈治療Ⅱ	⑤⑦ 中国手技療法
④⑥ スポーツ社会学		④⑥ スポーツトレーニング論Ⅱ	⑤⑦ 鍼灸理学併用療法実習Ⅰ	⑤⑦ 鍼灸理学併用療法実習Ⅱ	④⑥ スポーツと栄養	⑤⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ（神経系）	⑤⑥ 鍼灸治療実習Ⅲ（内科系）	⑤⑦ 中国手技療法
④⑥ スポーツコーチング論		③④ トレーナー見学実習	⑥⑧ アスリートトレーナーの役割	⑤⑦ 健康運動実習Ⅱ	⑤⑥ 運動器の触察法	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ（神経系）	⑤⑥ 鍼灸臨床実習Ⅰ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅰ
④⑥ スポーツトレーナー論Ⅰ		④⑥ 運動生理学	⑤⑦ 健康運動実習Ⅰ	④⑧ リハビリテーション「ログ・ラング」実習	⑤⑥ 鍼灸治療実習Ⅰ（運動器系）	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
③④ トレーナー見学実習		④⑥ 鍼灸理論Ⅰ（基礎）	④⑧ リハビリテーション「ログ・ラング」実習	④⑤ 疼痛動作の運動学	⑦⑧ 鍼灸診察法Ⅰ	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
④⑥ 医学概論		④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅱ（灸基礎）	⑤⑥ 運動器の解剖と機能	④⑥ バイオメカニクス	④⑥ 健康管理学	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅰ（鍼基礎）			④⑥ トレーニング科学	④⑥ スポーツ生理学Ⅰ	④⑥ 健康づくり概論	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
			④⑥ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	④⑥ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	④⑥ フィットネス実習Ⅰ	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
			④⑥ 鍼灸理論Ⅱ（応用）	④⑤ 経穴Ⅳ（要穴以外の経穴）	⑤⑦ 応急処置実習	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
			④⑥ 東洋医学各論Ⅰ（四診）	④⑥ 東洋医学各論Ⅱ（基礎弁証）	⑤⑧ スポーツ現場実習	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
			④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅲ（鍼灸応用1）	④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅳ（鍼灸応用2）	④⑥ スポーツ現場実習	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
					④⑦ 東洋医学各論Ⅲ（応用弁証）	④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
						④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
						④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
						④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
					④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	
					④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	
					④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	
					④⑥ 鍼灸治療実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	⑥⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	

(2018年度改定カリキュラム対応)